

富山大大学院医学薬学研究部

白木 公康教授

研究室発



带状疱疹予防にワクチンを

带状疱疹に伴う強い痛みや病後の痛覚過敏症にかかわる痛みの発生メカニズムを世界で初めて解明し、二十一日に韓国国営放送KBSの番組に出演するなど日本以外でも注目を浴びている。

痛みのメカニズムは、水痘带状疱疹ウイルスの抗体がBDNFと呼ばれる脳由来神経栄養因子の働きを増加させ、痛みを伝える神経細胞を活性化させるため、過敏に痛みを感じるというもの。

水痘带状疱疹ウイルスは、小児期に水痘に感染した後に体内に潜み、加齢や免疫低下で带状疱疹を発症する。「国内では高齢者を中心に年間六十万人が発症すると言われ、八十歳までに三人に

防の大切さを訴える。

「富山と言えば薬売り」との理由で漢方薬の研究を始めるなど直感で行動する一面も。「水痘带状疱疹の痛みは神経と関連するのでは」と思い付いてから七年間、粘り強く研究を続けた。「带状疱疹は身近な病気。予防のためにも多くの人に知ってほしい」

一人は経験する」と強調する。

しらき・きみやす

メカニズムの解明で有効な治療薬の開発が期待できるが「すぐにつくるのは難しい」とも。むしろ「水痘ワクチンを接種すれば、带状疱疹の頻度が半分以下に減る」と予

大阪大医学部卒。1984〜86年に米ペンシルベニア州立大医学部で研究。90年に富山医科大学科薬科大(現富山大)医学部ウイルス学教室教授。岐阜県出身。57歳。